

あいめーる

AUTUMN

グループホーム特集 愛隣館通信

平成 27 年 11 月 15 日発行
発行
社会福祉法人 愛隣園
障害者支援施設 愛隣館
発行責任者 三浦貴子
編集 広報チーム
キャリアピジョン

〒861-0551
熊本県山鹿市津留 2022
TEL 0968-43-2771
FAX 0968-43-2793
http://aileans.com
E-mail
ailinkan@magma.jp



(食堂ステージ：オールド・ストリート・サウンド)

今年初めて参加しました。短歌を出して四年目になります。毎年入選はしていましたが、今回のように四部門も入選したのは初めてのことでとても驚いています」と、戸惑いつつも喜んでいらしゃいました。

ステージ終了後、短歌・俳句の入選作品の発表、表彰、賞品の授与がありました。今年も沢山の地域賞を多くの方々からご提供いただきました。テイクアご利用の池田良子さんは、「月見の宴は

和やかな会食の後、ステージでは「オールド・ストリート・サウンド」の皆さん(第三者委員の猿渡様もメンバー)の生演奏が始まり、聴き慣れた曲ばかりで会場の皆さんも大盛り上がりでした。特に、愛隣館の歌姫(館長)の歌声には皆が聞き入り、拍手喝采でした。

今年も多数の応募があった、月の部・雑詠の部の短歌・俳句が披露され、いずれも力作ぞろいでした。テーブルの上には、ススキやコスモスも飾られ、頂き物のお団子やお寿司などのおいしい料理も並び、お月見ムードいっぱいでした。

和やかな会食の後、ステージでは「オールド・ストリート・サウンド」の皆さん(第三者委員の猿渡様もメンバー)の生演奏が始まり、聴き慣れた曲ばかりで会場の皆さんも大盛り上がりでした。特に、愛隣館の歌姫(館長)の歌声には皆が聞き入り、拍手喝采でした。

月見の宴

九月二十六日(土)、恒例の月見の宴が、入居者・利用者・職員・法人の役員に加え・地域の方々もご参加いただき開催されました。

三浦貴子館長の挨拶に続き、三浦一水理事長・来賓・選者紹介の後、入居者の永田勝利さんの乾杯の音頭でお茶会が始まりました。

今年も多数の応募があった、月の部・雑詠の部の短歌・俳句が披露され、いずれも力作ぞろいでした。テーブルの上には、ススキやコスモスも飾られ、頂き物のお団子やお寿司などのおいしい料理も並び、お月見ムードいっぱいでした。

和やかな会食の後、ステージでは「オールド・ストリート・サウンド」の皆さん(第三者委員の猿渡様もメンバー)の生演奏が始まり、聴き慣れた曲ばかりで会場の皆さんも大盛り上がりでした。特に、愛隣館の歌姫(館長)の歌声には皆が聞き入り、拍手喝采でした。

ステージ終了後、短歌・俳句の入選作品の発表、表彰、賞品の授与がありました。今年も沢山の地域賞を多くの方々からご提供いただきました。テイクアご利用の池田良子さんは、「月見の宴は

今年初めて参加しました。短歌を出して四年目になります。毎年入選はしていましたが、今回のように四部門も入選したのは初めてのことでとても驚いています」と、戸惑いつつも喜んでいらしゃいました。

今年初めて参加しました。短歌を出して四年目になります。毎年入選はしていましたが、今回のように四部門も入選したのは初めてのことでとても驚いています」と、戸惑いつつも喜んでいらしゃいました。

今年初めて参加しました。短歌を出して四年目になります。毎年入選はしていましたが、今回のように四部門も入選したのは初めてのことでとても驚いています」と、戸惑いつつも喜んでいらしゃいました。

今年初めて参加しました。短歌を出して四年目になります。毎年入選はしていましたが、今回のように四部門も入選したのは初めてのことでとても驚いています」と、戸惑いつつも喜んでいらしゃいました。

今年初めて参加しました。短歌を出して四年目になります。毎年入選はしていましたが、今回のように四部門も入選したのは初めてのことでとても驚いています」と、戸惑いつつも喜んでいらしゃいました。

今年初めて参加しました。短歌を出して四年目になります。毎年入選はしていましたが、今回のように四部門も入選したのは初めてのことでとても驚いています」と、戸惑いつつも喜んでいらしゃいました。



理事長より表彰される池田良子さん

尚、入選作品は六頁に記載しています。



館長

三浦 貴子

奥さんが五十歳の時、現役消防士のご主人が職場で倒れた。重い脳内出血だった。病院からひとり帰り、「お願いだから元の姿で、この家に主人を返して」と、大声で泣いた。若い頃に結婚し、どこにいても夫のオーラに包まれている安心感があった。

銀行からお金を下ろしたことをさえなかつた奥さんは、数日前の誕生日に夫から贈られた50本のバラを見つめながら、一年後は変わった自分に会えるよう頑張るって行こうと、試練に向かう覚悟を決めたという。

そして数年後には、「主人は我が身を持って、私を成長させてくれたんだ」という感謝の気持ちが生まれました。

それから十四年、子供達は成長し孫もできました。夫はデイケアに通いながら毎日笑顔でいる。夫が倒れたことよって生まれた、新しい支援の人々との縁にも感謝している。

このような話を、瀬口さん叙勲の際に奥さんから伺った。お二人の人生に与えられた、瑞宝単光章であることを確信した。

近況では、この夏から秋にかけて、生の芸術アール・ブリュット展覧会(11月17日〜23日)県立美

術館分館4F)に向け、作家の方々の訪問調査を続けている。

作品の凄さ、その背景にあるもの、作家を支えるご家族や施設のみなさまの深い思いにふれている。事務局をあずかる者として、最大限お伝えしたい、何とか成功させたいと心走る日々である。

愛隣館避難訓練

九月二十九日

(火)愛隣館にて、山鹿消防署職員三名の立ち合いのもと、夜間の火災を想定した避難訓練が行われました。

火災報知器が館内に鳴り響き、火元のボイラー室を確認した後

に、一号館利用者を速やかに玄関へ避難誘導。避難するまでのタイムを計測し、七分以内に避難出来た事にお褒めの言葉を頂きました。

その他にも、「各居室に確認で見回る際に大声で周知し、見回った後の確認の目印がドアであれば、二重の確認を防ぎ時間を短縮できます」と緒方消防二課課長補佐より講評を頂きました。

その後は、消火器による消火訓練を学びました。火災が発生しない様に注意しつつ、これからも有



事に備え、訓練をしていきたいと思えます。

実習生の声

熊本社会福祉専門学校 村上 宗次郎

「愛隣館で実習を行って思うこと」

私が愛隣館で実習をし、まず感じたことと言えばこの施設ではちゃんと挨拶が出来ているなという事です。

何故かと言うと、私が施設で挨拶をすると必ず返って来ていたからです。私は何事も挨拶から全てが始まると経験上わかっていましたので、将来就職するなら愛隣館のように挨拶から気持ちよく出来る所で働きたいと思っていました。

愛隣館ではどの課も利用者のことを第一に考えておられ、ここに入所された利用者の方々は幸せだなと感じました。もし、自分の親が障害を持ってしまったら、必ずここに入れようと思えます。

三障害が一元化され、入所出来る範囲が広まった現在、地域福祉を考え、これからの時代に必要不可欠な施設になって行



左より、実習生の村上さん、利用者の巖山さん

きますので、今の愛隣館の評価を引き下げる事無く、常に向上心持って経営して行って欲しいと思いをしました。

★ 長崎一泊旅行

入居者

原 智佐子

九月二日(水)～三日(木)に松島さん、吉玉さんと私の三名、職員四名で長崎は島原雲仙普賢岳に行ってきました。

一日目は、熊本港より船で長崎まで行き、お昼は手打ちのそばを美味しく食べました。

その後は、雲仙岳災害記念館(がまだすドーム)に見学に行きました。火山体験ミュージアムで火砕流に巻き込まれた車や、平成噴火の疑似体験ができ、とても勉強になりました。

夜は門構えがとても立派な雲仙みかどホテル本館に泊まりました。夕食は豪華バイキングで焼肉やカレーなどお腹一杯食べました。

二日目は、ゆっくりとした行程で、船から景色を眺めながら長崎を後にし、イオンモール熊本で風食を摂り、各々お土産等買い



物をして時間を過ごしました。

みんなが無事に旅行が出来たことに感謝します。

山鹿・植木合唱祭

九月二十三日(水)山鹿交流センター文化ホールにて山鹿・植木合唱祭が開催され、利用者二十二名、職員十四名が参加しました。

会場は、市役所横に隣接しており昨年十月に落成したばかりです。皆さん、初めてのステージとなりました。

今回、初参加された巢山浩さんは「元々歌が好きで、音楽クラブにも参加して練習しています。新しい場所です。とても綺麗だったので、とても綺麗だったです。一番目のステージで三曲歌いました」と、当日の楽しかったお話しをされました。



飾り馬の披露

九月十三日(日)若藤会、十八日(金)武蔵連合会の各団体の皆さんが、「愛隣の家」広場にて、飾り馬を披露されました。

両日とも晴天で、吹く風が心地いいほどでした。前広場に「ドークイ、ドークイ」という威勢のいい

掛け声とラッパの音色と共に、元氣よく飾り馬が登場しました。

見物に来ている皆さんの前を、馬が優雅に回っていました。

観て楽しんだ後は、記念撮影です。

今年の馬は、とても大人しいので近くで沢山の記念撮影が出来ました。遠くからお越しいただいた団体の皆様、ありがとうございました。



監査報告

十月八日(木)、熊本県健康福祉部長寿社会局社会福祉課より、三名の監査吏員がお見えになり、指導監査が行われました。

運営、会計、処遇等を見て頂き、お褒め頂いた点、ご指導頂いた点に対応して行きます。

お礼報告

十月三十日、公益社団法人 熊本善意銀行様から、玄米二十キロが届きました。これは匿名希望の方からの贈り物だそうです。ありがとうございます。

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアビジョンが担っています。

もう一つの選択 ぴあハウス

ぴあハウス

ぴあハウスは、平成19年6月、ケアホームと福祉ホームを用いた住まいの場の提供と、居宅介護、日中活動との組み合わせによって、地域生活を支える多機能ケアホームぴあハウス(十二人)として開設しました。

また、ぴあハウス昭和町(平成23年5月開設・三人)は、障害のある人の地域生活移行、地域生活を継続する上での課題を明らかにし、必要なサービス資源の創出と体制づくりをすることを目的にした、平成22年度「熊本県障害者を地域で支える体制づくりモデル事業」を引き継ぐ形で始まりました。

山鹿市のまちなかのアパートの一室を借り上げ、車イスでも不自由なく生活できるよう改修、地域自立生活体験室として、愛隣館が独自に立ち上げたものが出発点となっています。



【 ぴあハウス昭和町 】

グループホーム

という選択肢

サービス管理責任者 前田明

町中でのグループホーム運営は不安でいっぱいでした。入居の方の安全が第一でしたので、もしもの緊急時の対応をどうするか考え、不安を少しでも取り除けるように、何時でもスタッフに連絡が取れるように「安心コール」が始まりました。また、大家さんが近くにおられることも大きな安心に繋がりました。

障害にに応じて、町中で生活したい。親元から離れた生活したい人達の選択肢が広がりました。今まで生活する場所を選べなかった方が、自分の意志で住まいの場を決めることができるようになります。行くところもできるが、帰るところもできる等、当事者が沢山の可能性を見出すことができるようになります。

入居の方が「車椅子になって、まさか自分で料理が出来るとは思いませんでした」と、嬉しそうに

語ってくれたことや、一人の時間を大切に過ごしたいと思う方が充実した時間を使えるようになったこと。

施設以外での生活経験がない施設入居の方の、外でどうしても生活したいという気持ちに配慮することができたことや、ご自分の生活の場を、ご自身で決定し、満足して生活をされていることがぴあハウスの果たしている意義だと思っています。

不安だった地域移行

ぴあハウス昭和町 木庭英昭さん

施設からグループホームに出て、一時は不安だったけど、前にデイケアにおられた職員さんが世話人として入られたこともあって、懐かしくもあり安心できました。

現在の生活にはとても満足しています。畳の部屋なので落ち着き、のんびり暮らしています。世話人さんが明るく話しをよく聞いてくれるので、毎日楽しく生活できています。

ぴあハウスで始めて迎えたお正月に同じ入居者のMさんが、お節料理を一週間前くらいから仕込みはじめ、元旦に手の込んだ彩のいい料理を作られ、みんなで食べたのが心に残っています。



【 飼育中のメダカに餌を与える木庭さん 】

人が好き

ぴあハウス昭和町 大家 三森ミサヲ

車椅子のSさんが二階に引っ越して来られ、明るく元気に生活しておられる姿を見て、車イスでもエレベーターがあれば、うちのようなマンションでも生活が可能なのだと感じていました。

そのような思いを持っていたとき、マンションの空き室を福祉に活用できないものかと、愛隣館の三浦館長さんにご相談をしたのがきっかけです。

もともと、主人が難病で十年前に亡くなり、いつかは「人の役に立つことをしたい」「高齢者が集える場所を作りたい」と思っていました。

ぴあハウスは、地域において共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います。また、入浴、排せつ、食事の介護等の必要性が認定されている方には介護サービスも提供します。

障害者の高齢化・重度化に対応して、介護が必要になっても、本人の希望によりグループホームを利用し続けることができるよう、平成26年4月からケアホームがグループホームと一元化されています。



【 大家の三森ミサヲさん 】

車イスを利用される方など、身体に障害をお持ちの方を迎えるにあたっては、ビル入り口の段差解消を行い、居室は、愛隣館の方でトイレの聞き戸を引き戸に変更、手摺を付けたリ、洗面所を車椅子で使えるようにしたりして、入居される方の障害に合わせられました。エレベーターはあるものの、車椅子での乗り降りが安全にできるか？正直心配でした。

「人が好き」で、障害があっても分け隔てなく接することは当たり前で、楽しく過ごしてもらえればと思います。

グループホームの皆さんや世話人さんの話し声や笑い声などの生活音が聞こえるとホッと安心して幸せな気分になります。

同じ時間を過ごす

ぴあハウス管理人 松見尚寛

事務的なことでは、各種手続きの代行などを行っています。ヘルパーさんではできないこともありますが、建物の保守点検や雑用なども含めて行っています。それに、ぴあハウスで入居お風呂を楽しみにしておられる男性利用者の入浴介助もしています。

ここは、共同生活とは言っても、施設ではないので、より入居者お一人おひとりの生活を尊重して行けるように心がけています。

ぴあハウスで心に残ったことは、やはり、ここに来てすぐに催された八周年会です。地域の方や、入居者の方、ご家族の方と、同じ時を過ごせたことが、今も心に残っています。



【 ぴあハウスにて話し合う松見、河野さん 】

平成二十七年 月見の宴 入選作品

短歌【月の部】

一席 ありがとう その一言に 元気づき

仕事を終えて 満月を見る

二席 中秋に 立ちどまり空 吾亦紅 (牧野和起子)

丸い光に 包まれており

三席 秋の夜の 紅蓮ぐれんの月に 照らされて

堀内つた子 (三浦貴子)

紅濃べにく染まる 彼岸花

米崎みどり

短歌【雑詠の部】

一席 車いす 押しは何度も 立ち止まり

背なで感じる 老いた母の手

二席 風を切り 街中走る 車椅子 山口さとみ

行き交う人に ほほ笑み返す

三席 目を細め ビーズの穴に 糸通す 坂田照美

一つ一つに 願いを込めて

俳句【月の部】

一席 柿の葉の ひとつひとつに 月の影 田中栄子

二席 満月に 初孫照らし えくぼかな 原照子

三席 漆黒の 水面に映る 月鏡 古澤ゆかり

俳句【雑詠の部】

一席 土用干し 紅色べにいろなれよと 梅を干す 森本みよ子

二席 気がとんだ 秋の夜長の ヒアガーデン 月うさぎ 杉山伸一

三席 三席 漆黒の 水面に映る 月鏡 山下四季子

三席 一輪の 彼岸花 咲き ホットする 友枝正海

理事長賞 愛隣荘賞 中山彩水賞 鶴城中学校 山西賞

館長賞 虐待は 親も助けを 呼んでいる 池田良子

愛隣荘賞 手をつなぎ デートしたいな 月の夜 河津政男

三浦牧子名誉理事長賞 七十年 悲しい時代は 知らぬけど 杉焼春奈

オール・ブリュットパートナーズ熊本 西島会長賞 御名おなみつけ いとしい人に 耀てる月よ 古川和代

同窓会 過ぎ去りし日も 逆戻り 岩下力

おぼろ月 赤福照らして 母の顔 吉田裕子

熊本日日新聞社 岩下写真部次長賞 耳遠し じゃーんなかた 大嵐 小川ハツ子

館長賞

虐待は 親も助けを 呼んでいる

池田良子

愛隣荘賞

手をつなぎ デートしたいな 月の夜

河津政男

三浦牧子名誉理事長賞

七十年 悲しい時代は 知らぬけど

杉焼春奈

オール・ブリュットパートナーズ熊本

御名おなみつけ いとしい人に 耀てる月よ

古川和代

同窓会

過ぎ去りし日も 逆戻り

岩下力

おぼろ月

赤福照らして 母の顔

吉田裕子

熊本日日新聞社

岩下写真部次長賞

耳遠し じゃーんなかた 大嵐

傍らに

いつも寄り添う お母さん

小川ハツ子

語り

語り 語り 語り

大坂恭子

熊本日日新聞社

潮崎山鹿支局長賞

車いす 押しは何度も 立ち止まり

背なで

背なで感じる 老いた母の手

山口さとみ

特別賞

ボクの部屋 怒ると光る ムーンライト

生きてれば 楽しいことがあるのにな

城北高校 竹原校長賞

傍らに 母去りてなお 居るごとく

息子と二人 月明かりさす

酒井勝枝

鶴城中学校 山西賞

湯けむりに ますぐ伸びる 彼岸花

永野文香

山鹿ニユーグランドホテル 吉川賞

つるし柿 甘くなれよと 手をかけて

森本みよ子

満月を 心静かに 眺めたい

伊豆永鶴代

明治学院大学 平野賞

満月の 光よどうか 導いて

米崎みどり

三菱総研 高森賞

私だけ 見つめてくれる プロマイド

吉田裕子

出雲アマテラス 北尾賞

マイナンバー ストレスチェックが ストレスに

梅崎美智子

晩を待ち 皆で持ち寄る 句や短歌

納富久

詠む番を待ち ふく月の夜

田中鉄也

ボクの部屋 怒ると光る ムーンライト

田中鉄也

生きてれば 楽しいことがあるのにな

田中鉄也



新しい仲間



入居者

木下 寿浩

皆さんこんにちは、木下寿浩(としひろ)と申します。今年の六月一日より愛隣館に入居しました。以前は、愛隣倶楽部、ぴあハウスを八年間利用していました。

病気の関係で胃うつになり、今では飲んだり、食べたりすることが出来なくなり、中々行事に参加することも出来ないのでも残念です。

部屋での楽しみは、有料チャンネルで映画や野球やテニス等、スポーツ全般を見て楽しんでいます。二〇二〇年にある東京オリンピックピックを見たいです。これからは、余暇の時間をゆっくゆっく過ごしたいです。



デイケア利用

松本 靖弘

「まだ何もわからない」

はじめまして。僕は鹿本町来民に住まいをしています。松本靖弘と申します。

この度、愛隣館のデイケアにお世話になる事になりました。病気で倒れる前は、鍼灸・マッサージをしていました。僕は、病気で右半身麻痺になりま

したが、元々、左も幼い頃の病で、自由が利きません。仕事をしていた時は、右手だけで、騙し騙ししていました。

今は、陶芸で箸置きを作っています。「片手だけでできるんだな」と思い驚きと嬉しさを感じます。とにかく、「何々をこなさな」と言われたいのは、慣れて無いので、戸惑いの中、一日が過ぎて行きます。二年前は、NHKの「ハート展」で、詩が入選したので、今は、出来ませんが、近い将来は、パソコンで、書けたらな、と思っています。

新人職員紹介



ケア課

池松 知京
ちひろ

皆さんこんにちは、今年の五月一日から愛隣館で働かせて頂いております池松知京(ちひろ)です。出身は山鹿市山鹿で年齢は二十五歳です。

私は、高校を卒業後、山鹿市菊鹿町にあります花富亭という旅館で五年間勤めました。その後、福祉について学びたいと思い職を探している時に三浦施設長との出会いがあり、愛隣館で働かせて頂くことになりました。

現在、入社して約五ヶ月程で福祉の知識や経験が浅くゼロからのスタートですので、皆さまには大変ご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、いつでも全力投球で頑張りますので今後ともよろしく

お願い致します。



ケア課

緒方 奈実子

二年間勤めた職場を辞め、私がこの愛隣館にお世話になる事になったのは、十八才と六才になる子供たちへ、誇れる仕事をしたいと思ったからです。

この愛隣館へ見学に来た時の、職員の方々の生き生きと仕事をされる姿、入居者の方々の笑顔が大変印象的でした。

全く経験の無い私にとってこの仕事を続けていけるか不安でもありました。しかし、職員さん、入居者の方からの励まし、ご指導に勇気づけられ、頑張っていくことができていると思います。

分らない事だらけでご迷惑をおかけする事も少なくないと思います。自分なりではありますが信念を持ち、入居者の方へのサポートが全力で出来る様頑張っていくたいと思っています。宜しくお願い致します。

デイケアフロア
リニューアル

平成三年六月の開設以来二十四年、色は黒ずみ、ところどころ捲れていたデイケアルームの床の研磨工事を、八月七日(金)〜十日(月)の日程で実施いたしました。工事の期間中は、入居者・利用者の皆様にはご迷惑をお掛け致しました。ご協力、誠

にありがと
うございま
した。

工事の後
は、開設当時
よりデザイ
ービスご利
用の方々か
ら、「昔のよ
うな輝きが
戻ったね」と
か、「灯りが
反射して目
に眩しい」などの喜びの声を聞くことが出来ました。



当時の輝きを取り戻すティフロア

第二十二回法人夏祭り

八月二十九日(土)恒例の法人夏祭りが開催され
ました。

当日は、生
憎の雨で舞台
を急遽！愛隣
の家食堂に変
更。舞台は法
人スタッフが一
手際よく玄關
先にテントを
張り設置され
ました。

舞台では、
各法人による
趣向を凝らし



愛隣館職員によるパフォーマンス

たパフォーマンス。坂本高広様(山鹿市視覚障害者福祉協会会長)は、嫁ぐ娘さんへご自分で作詞された「バージンロード」を熱唱。フラダンスやバナナの叩き売りがあり、ステージの最後には、愛隣館灯籠伝承部が優雅で幻想的な山鹿灯籠踊りを披露。雨にも関わらず、会場に詰め掛けた入居者・利用者とそのご家族、地域の方々の笑顔と歓喜の声で大いに盛り上がりを見せた夏祭りでした。

第十一回ふれあいピック

ケア課

古川慎市朗

十月三日(土)、山鹿市カルチャースポーツセンターにて、第十一回を迎えたふれあいピックが十七団体参加のもと開催され、愛隣館からは六十三名の利用者の方が参加されました。

今年、開会式にくまモンところう君の特別出演もあり、スタートから会場全体の温度が上がリ、そこに各競技の参加者の方の熱も乗って、数多くの声援と笑顔の中、大会も無事終わりました。



の輪投げまでは少し表情が硬い感じを受けていたのですが、競技が始まると自然と笑顔がこぼれていらっしまったのが印象的でした。

お知らせ

【生の芸術アール・ブリュット展覧会】

本年度は、県のハートウィークとのタイアップ事業として、展覧会を開催いたします。

日時：平成 27 年 11 月 17 日(火)～11 月 23 日(月)
場所：熊本県立美術館分館 4 階

【アール・ブリュット移動美術展】

● 11 月 7 日、11 月 12 日 NPO 法人はまちどり
Tel: 09 6 6 8 4 9 5 8 0

● 11 月 25 日、12 月 1 日 鹿本市民センターひだまり
Tel: 09 6 8 1 4 6 1 3 1 0

● 12 月 3 日 熊本県立劇場演劇ホールホワイエ
Tel: 09 6 1 3 6 4 0 0 7 0

● 12 月 4 日、12 月 9 日 社会福祉専門学校
Tel: 09 6 1 3 4 0 0 0 7 1

● 12 月 12 日、12 月 20 日 八代学園オーシャン
Tel: 09 6 5 3 8 9 1 3 1

● 12 月 22 日、12 月 24 日 熊本市役所
Tel: 09 6 1 3 2 8 2 5 1 9

● 12 月 27 日、1 月 14 日 熊本機能病院
Tel: 09 6 1 3 4 5 8 1 1 1

● 1 月 17 日、1 月 28 日 小国ゆうステーション2F
展示場
Tel: 09 6 7 4 6 4 1 1 1

※ 休館日等は、各会場へお問い合わせ下さい。